

韮崎市中小企業・小規模事業者振興協議会 会議録（要旨）

【会議の概要】

1 会議の名称	令和7年度 韮崎市中小企業・小規模事業者振興協議会
2 日時	令和8年3月24日（火） 午前10時00分～正午
3 場所	韮崎市役所 4階 401会議室
4 議題 （審議事項）	(1) 令和7年度事業の実施状況について (2) 意見交換 (3) その他
5 出席委員（欠席）	岩下和彦会長、細田正信委員、道村健司委員、杉本保委員、千葉健司委員、片上隆三委員、堀内美津子委員、松本恵子委員、長谷川尚樹委員 計9名 (欠席委員：佐々木啓二副会長)
6 会議の公開区分	■ 全部公開 □ 一部公開 □ 非公開
7 傍聴人の数	1人
8 出席職員	事務局：商工観光課長 井上、商工観光担当Ⅰ 歌田篤 オブザーバー：韮崎市商工会 石川充

【協議内容等】

協議内容及び決定事項	発言者	内容（要旨）
	事務局（歌田）	【開会】 開会の宣言。次第に則り協議会を進行
	事務局（歌田）	【委員紹介】 ・事務局より委員紹介
	事務局（歌田）	【会長挨拶】 ・続きまして、岩下会長よりご挨拶を申し上げます。
	岩下会長	【会長挨拶】  本日の会議は、商工会、企業、小規模事業者、関係団体の皆様にお越しいただき、それぞれの立場から取り組みを振り返り、今後に向けての課題を確認するという位置づけです。  また、小規模事業者にとっての昨今は厳しい状況があり、急激な物価高、原材料不足などが主な要因です。  物価高に対しては賃上げをしていかないと生活が厳しい。賃上げをするためには原資が必要であり、だからこそ中小規模の事業者は稼がないといけない。中小企業は地域のインフラを支える基盤でもあります。  中小規模の事業者を支援していかなければならないが、これは行政だけではできないし、商工会だけでもできない。  様々な立場の人たちが連携をして、事業者が稼ぐ力をつけるためにどうしたら良いかということをご一緒に考えていかなければならない。  今日の協議会がそれぞれの立場で何をしてきたか？何ができるのか、これから何をしたらいいのかと、そんなことを踏まえて意見交換をしていただければありがたいです。  本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局（歌田）	【議事】 次第4の議事に移りたいと思います。進行は協議会規則の規定により会長にお願いします。
岩下会長	【議事】 令和7年度事業の実施状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局（歌田）	【説明】 令和7年度事業の実施状況について説明。
商工会（石川）	【説明】 令和7年度商工会事業について説明。
岩下会長	【議事】 以上、質問あればお願いします。
道村委員	資料6頁のNo2の②の企業立地支援金及び助成金の支援実績の数が減少しているが、この要因はなにか？
事務局（歌田）	この支援金は比較的規模の大きな企業が生産瀬の向上に資するような設備投資をした際に助成金を交付するものでありますが、増減については結果として減少したものであり、制度の性質上増減予測を見通せるものではありません。 この助成金は山梨県との協調助成でもあるので、県とも連携を図りながら、制度の活用を促していきたい。
道村委員	商工会事業で経営改善に関するセミナーの開催がありますが、これぐらい参加したら良いなみたいな目標があるのでしょうか？
商工会（石川）	会場の定員もあるので一概にはいえませんが、おおむね20名程度を想定しています。各回とも順調に参加申込がある状況です。
道村委員	あと、オープンファクトリーの人数がだいぶ多かったと思うのですが、この人数は家族での参加などが要因ですか？
商工会（石川）	家族数も入っています。もの作り体験など家族参加が多かったところですよ。
岩下会長	オープンファクトリーについては、実行委員会でも今年の目標をどうするみたいな話がやっぱり出まして、昨年に関してはあの実行委員会でも1000人を目指そうっていうことになったのですよね。 そうした中で事業所も期間中、毎日開催をしてくれたりして、そういう意味であのかなり盛り上げてくれたなという感じはします。  その他なにかありますか？  事務局より説明のあった取り組みにつきまして、お金がかかってくるものに関してはなかなか新しいことはできないのですが、課題も変化してきておりますので、柔軟に対応していただければなっていう風に思っています。よろしく願いいたします。  事業の取組状況に関する質問は以上でよろしいでしょうか。  それではこれよりは、意見交換に移りたいと思いますのでよろしく願いいたします。  はじめにハローワークさんよりお願いします。
細田委員	ハローワーク韮崎公共職業安定所の細田です。 よろしく願いいたします。 私の方からは、最近の労働市場の雇用情勢等については説明を簡単にさせていただきます。

	<p>※以下、資料に基づき説明（資料参照）</p>
<p>道村委員</p>	<p>毎回申し上げているのですが、弊社の場合、事業自体が個人に直接響くではありませんので、市内の個人事業者には直接というのはなかなか難しいところがあるのですが、できることからコツコツというような感じで、少しでもご支援できればと考えております。</p> <p>コロナの時から続いて、市内の店舗を商工会の石川様にご紹介いただき、お昼のお弁当売りや洋菓子などを定期的に来ていただいている。これまで13店舗に藤井事業所と穂坂事業所にきていただき、いずれかの店舗に月1回の販売会を開催し、あとは穂坂事業所ですと、毎週お弁当販売に来ていただいているということで、ご協力いただいております。</p> <p>また、こども食堂の方へ、食材や教育支援機器の提供、工場見学の招待などをさせていただいております。</p> <p>このほか、市内の幼稚園、保育園、小中学校、子育て支援センターへ寄付をさせていただいており、そういった行動を通して市内の事業者の皆様と繋がりを継続できればと思っております。</p> <p>また、採用という面では市内に定住する方が多くなれば、それだけ市内の店舗活用頻度も上がるということで、昨年はなかなか定住率がアップしないという話をさせていただきました。主に新卒ですが、前年度は11%が今年度は18%になり、若干ですが定住率がアップし、市内への住む人間が多くなっていることになりましたね。</p> <p>あとは例年よりは多く高校生も採用させていただいておりますので、そういった面でもあの少しは貢献できていると思っています。</p> <p>中途採用については、中途の皆さんを呼び込むのは山梨が東京に近いようで非常に遠い存在であり上野原を越えてくることはなかなか難しく、あと応募はありますが、韮崎まではきていただけないです。</p> <p>そういった方が結構多いですね。そのため、都心からのアクセス、家賃（甲府とあまり変わらないのですが）、子育て支援の関係など、そういったところの資料を映像を含めて制作し、採用活動の中でリターン、Iターンあるいは新規など、応募労働者のご家族を説得するツールとして活動した結果が、定住率のアップにも繋がっているではと考えております。</p> <p>来年2026年度も寄贈を継続させていただきますが、対象範囲を広げたり、規模を大きくしたり、そのようなことも考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>杉本委員</p>	<p>山梨銀行韮崎支店で支店長をしております杉本と申します。地域金融機関としての取り組みというところでお話しさせていただきます。</p> <p>まずは事業者様への円滑な資金供給という点と、あと事業者様が抱える課題を把握して、それに対しての課題解決支援策を提供するという商工会様も取り組まれているような内容とかがるところあるのですけれども、地域金融機関としてこの2点を重要な取り組みとして取り組んでおります。</p> <p>足元の金融環境は岩下会長からも話ありました通り、政府から賃上げを継続してくださいということで、企業の人件費負担も増しているということと、日本銀行が政策金利を引き上げているということもあり、資金をお借入をしていらっしゃる中小企業の皆様にはその未払負担が増加しているというところが、収益を下押ししているというところがあります。</p> <p>それに加えて中東問題が発生し、これが原油価格の高騰という形でかなり反映してきています。</p> <p>これが、企業様の収益をさらに下押しするリスクがかなり高まってきているというような状況かという風に認識しています。このままいくとセーフティネット保証なんていう借入制度もいずれ長期化すると出てくるのではという懸念もちょっと抱いているところであります。</p> <p>あと一方で、金融当局が今銀行に何を求めているかって言うと、日銀も金融庁もそうなんですけれども、まず地域の金融機関が地域の事業者様を積極的に支援する姿勢や取り組みをしているかどうかというのを金融機関はモニタリングされておりまして、大体1年に1回ぐらいですね。まあ1年に1回はやり過ぎですかね。2年に1回ぐらい、その金融機関の取り組</p>

	<p>みを金融庁や日銀が来て必ず検査していくような形になっています。</p> <p>また、今年の 5 月から金融庁の方で創設した事業性融資の推進に関する法律ができて、本当の意味で金融機関が事業所事業者様に向けた円滑な資金融通をもっと強化しろというこの法律が出来上がったのです。</p> <p>簡単に言いますと、東京の方の大企業に融資じゃなくて、あくまで地域に目を向けて地域の事業者様を支援するための本当の意味での融資をしようということが、この 5 月から求められてくるという状況になっているということです。</p> <p>そういった観点から言いますと、弊行といたしまして、まず、地域の事業者様への円滑な資金供給というところでいきますと、荏崎市様の方で小規模企業資金融資という形でかなり低レートの固定金利で調達できる制度融資があるほか、先ほど商工会さんの方から発表ありましており、賃上げに取り組まれている 3 アップ認証という制度を使った企業様を対象に、山梨県の方が成長山梨応援融資という賃上げ特例枠の融志制度を作りました。</p> <p>これは運転資金で 2000 万円まで設備資金で 1 億円まで固定金利の 1.6% で借りられます。</p> <p>賃上げに取り組まれている事業者さんを応援しようというような制度融資も出てきていることから注力していきたいなというところで考えていくということです。</p> <p>それから企業様が抱える課題解決支援というので、我々の方でやっているコンサルティングメニューということで、人材紹介であったり販路拡大支援であったり、ICT とか DX の支援とか事業承継支援とかさまざまなメニューあるのですけれども、こういったメニューを取り揃えて、企業様がその課題を持っているということであれば、我々の方にも専門人材もおりますので、企業様のニーズを把握しながら、あの課題解決に導いていくというような取り組みもやっております。</p> <p>あと特に我々の方で去年から取り組んでいるのが、東京の取引先企業と山梨県内の企業を結びつけるビジネスマッチングというこのことで、販路拡大支援をちょっとあの支援しているというこの取り組みもやっております。</p> <p>このように、市や商工会、地域の団体等と共同しながら、地域社会の発展、事業者様の価値創造というところに貢献していければいいなという風に思っておりますので是非今後ともよろしく願いたします。</p> <p>私からは以上です。</p>
千葉委員	<p>一級建築士事務所の代表をしております。千葉です。よろしく願いたします。</p> <p>建築業界の動向としましては 3 年連続新築着工棟数が低迷してしまっていて、一昨年初めて 80 万棟を新築着工棟数 10 万棟を切ったかと思いきや、去年は 74 万個で大幅に落ち込んでいます。</p> <p>理由が大きく 3 つあり、1 つ目が資材の高騰、2 つ目は職人不足、3 つ目が建築基準法のあの法改正です。</p> <p>こうした状況下、私たちの会社はリノベーションに特化した建築会社を立ち上げ、15 年前から空き家等の有効活用に取り組んできております。</p> <p>リノベーションに関しては費用が新築の 30% ぐらいで、費用を抑えられるってこともあり、また、二酸化炭素の排出量も 20%抑えられて環境にも優しいなんてこともあり、今すごく伸びている業界ではあります。</p> <p>また、建築をやりながら街づくりとかにも積極的に参加させてもらうことで、おかげさまで順調に経営は成り立っております。</p> <p>採用のところで言いますと、3 年前に初めて新卒 22 歳を同時に 2 人採用しまして、4 年たちました。</p> <p>ただ、山梨に建築学部や専門学校が無いので、技術者はみんな東京とか首都圏で流れてくっという中で、山梨は本当非常に採用が難しく優秀な子たちが私たちの会社を選んでくれるって事は本当にありがたいことではあると考えています。</p> <p>そんな中でもなんでうちが選ばれるかっていうことを考えた時に、今の若い子達の間で街づくりがトレンドになっているのですよね。自分たちが町を変えたいみたいな意識を持っている。</p>

<p>松本委員</p>	<p>教育委員会生涯学習担当の松本です。</p> <p>私が担当している業務は主に公民館活動、青少年事業の部分で担当をさせていただいています。</p> <p>公民館の方ですけれども、昨年の会議でシニアの方のスマホ講座っていうのを開催しましたっていうことご報告させていただいたのですが、今年度はそこから少しステップアップをして、シニアの方たちがスマホを利用しながら、そこに興味を持った方が、習得したスキルを活かして雇用につながるような取り組みをしております。</p> <p>もう一つは、葦崎工業の生徒さんにもっと地域を知ってもらって、あの地元愛高めてもらおうという企画を実施しています。</p> <p>また、先ほど新しい店舗がたくさん出てきているということで、あの若い方たちが街の中を歩く風景なんかはとても微笑ましいと思うのですが、一方あの高齢の方々にとっては新しい店舗に足を踏み入れるというのが、なかなか勇気が必要でという声が届いています。</p> <p>そこで、私たちも公民館の活動の中で何かできないかなということで、例えば駅前の辺でしたら、街中の歴史を学びながら、新しい店舗でみんなと一緒にお茶をしようとか、それからその商品のことをみんなで一緒に行ってお話を聞いてみようなどに取り組んでいます。</p> <p>以上です。</p>
<p>堀内委員</p>	<p>商工観光課付の地域起こし協力隊をしております堀内と申します。私は葦崎の山岳観光を推進するというミッションを行っています。</p> <p>葦崎の街中と甘利山をつなぐ取組を主にしており、現地までの2次交通がないということで、葦崎駅から甘利山までの乗り合いタクシー事業を担当しております。</p> <p>今後もタクシー事業を続けてはいきたいのですが、事業費に足が出ており、補填していた部分もありますので、来年度から協賛事業として続けていきたいと思っています。</p> <p>今後、地域の企業さんとか、地元の方々にもご協力をいただきながら、あのなんとか続けていきたいという風に今考えています。</p>
<p>片上委員</p>	<p>新規事業者の片上です。</p> <p>私の事業内容としてはま国内の電気工事士不足の解消に向けた取り組みとして、電気工事士の資格支援サポートというのをやっております。</p> <p>先ほどお話も出ていましたが、やはり建設業で技術者が不足しているというところで、第2種電気工事士第1種電気工事士といったところの人材が不足しているということを経済産業省も出している中、私が職業訓練校で講師を進めておりましたので、その経験を生かしてえま、そういった資格試験サポートを実施しているところであります。</p> <p>それに加えてですね。電気工事士の資格試験というのは技能試験がありますので、その技能試験において必要なキットを販売しているといった形で事業を進めております。</p> <p>課題としてはやっぱりあのキットの製造ということで、やはり原材料がケーブルと器具やコンセントといったところになり、原材料が高くなっているということで、今年のキットの販売価格としては、前年度より3000円ほど上げた形で予約販売というのを開始したんですが、ありがたいことに全て予定販売個数という予約が取れました。</p> <p>やはり私の事業としては、メインのプラットフォームをYouTubeを軸に頂戴しておりますので、動画を見た方がこのままキットを買っていただくという流れが作れているので、まそういったbtcの売り先が確立されており、そういったことを考えると、やっぱりこの3000円の値段が上がったということで、お客様からすると結構苦しいのかな？というところはあるんですが、付加価値をつけることで、顧客の皆様も買ってみようかなと、他の企業よりもこの人から買ってみようといったことに繋がっているのかもしれない。以上です。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>私からは先ほど事業の実施状況で説明あったこと以外で、市の状況を少し報告させていただければと思います。</p> <p>まず来年度に向けて組織の見直しを若干させていただきました。</p> <p>今まで商工観光課と市の観光協会の両方がちょっとすっきりしていなかったということもあ</p>

	<p>り見直しをさせていただきました。</p> <p>観光政策を商工観光課で担い、イベントであったりえ、プロモーションであったり、SNSであったりとかを観光協会というような形で、事務を見直しさせていただきました。</p> <p>その他、住宅施策や移住定住に特化した課として移住定住課を創設しました。</p> <p>また、街中の駐車場不足として、市民交流センターのニコリの駐車場を24時間化しました。おかげさまで利用台数も増えている状況です。</p> <p>あと、インフラ関係ですと、穂坂地区工業用地の造成に今取り掛かっておりまして、今年度でほぼ工事は終了するというような状況になっております。</p> <p>あとその周辺を走る市道 97 号線というのを今一生懸命やっているのですが、こちらは用地買収が 90%ぐらいを済んだというようなところで、来年度から道路をいよいよ目に見える形で工事していくような状況になりますが、国の補助金等も使ってやっておりますので、その動向によっては何年に完成するかということがちょっと今は言えないところですが、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>また、国道20号の4車線化ですが、市長も国土交通省の方をお願いしに行ったりしているのですが、まだ目に見えたものが出ない状況であります。</p> <p>新年度、ルートを国土交通省が示されてくるというように動き始めるというような状況もありますので、こちらも時間はかかるのかもしれませんが、市長も前向きに何回も交渉行ったりしてやっておりますので、ご承知していただければというようなことでございます。</p>
商工会（石川）	<p>最後に商工会から3点について要望させていただきますので、ご検討いただきたいと思います。</p> <p>1点目は、ビジネスチャレンジ補助金について改修とか設備投資が現状は主ですが、商品のPRや情報発信、販路開拓にも使えるように対応していただきたい。</p> <p>2点目は利子補給制度について、対象制度の拡充、特に借り換え資金を対象にするなど柔軟に対応をしてもらうことで、使いやすくなるのではないかと思います。</p> <p>3点目は商工会への加入促進です。皆さんにもぜひお声をお願いいたします。</p>
事務局（歌田）	<p>いただいた要望については前向きに検討していきたいと思っております。</p>
岩下会長	<p>その他ですが委員の皆様及び事務局より何かございますか。ないようであれば、議事を終了します。</p>
事務局	<p>【閉会】以上で、令和8年度韮崎市中小企業・小規模事業者振興協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。</p>